

「家計調査の改善に関するタスクフォース」の開催

総務省では、消費の実態のよりの確な把握に向けて家計調査として今後取り組むべき事項などについて検討を行うため、「家計調査の改善に関するタスクフォース」を下記のとおり開催します。

1 目的

家計調査は、我が国の家計収支の実態を明らかにするための統計調査であり、その結果は、景気動向の判断、税制や社会保障政策の検討、消費者物価指数の作成、地域振興など幅広く利用されています。

一方、家計調査に対しては、調査世帯が偏っているのではないか、調査結果の振れが大きくなる可能性があるのではないかといった各種の指摘も見られます。

個人消費の動向への注目が集まる中で、消費の実態をよりの確に把握するために、家計調査として今後取り組むべき事項などについて検討を行うことを目的として「家計調査の改善に関するタスクフォース」を開催します。

2 検討事項

- (1) 正確性の一層の向上
- (2) 社会経済の変化を踏まえた対応
- (3) 家計消費の把握のための新たなアプローチ 等

3 構成員

別紙のとおりです。

連絡先：統計局統計調査部消費統計課
(担当：森本課長補佐、北原統計専門職)
電話(直通) 03-5273-1172
FAX 03-5273-1495

家計調査の改善に関するタスクフォース 構成員一覧

(敬称略、50音順)

う な や ま たかし
宇 南山 卓 一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター 准教授

こ ま き やすゆき
小 巻 泰之 日本大学経済学部 教授

た き とし お
瀧 俊雄 (株) マネーフォワード 取締役・Fintech 研究所長

たくもり あきよし
宅 森 昭吉 三井住友アセットマネジメント(株) 理事・チーフエコノミスト

は し こういち
櫛 浩一 (株) ニッセイ基礎研究所 専務理事

もりかわ ひろゆき
森川 博之 東京大学先端科学技術研究センター 教授

よしぞえ やすと
美添 泰人 青山学院大学経営学部 プロジェクト教授

※ このほか、関係省庁等もオブザーバーとして参加する予定